

生徒と保護者のための
**週刊
かわら版**



編集責責・大庭

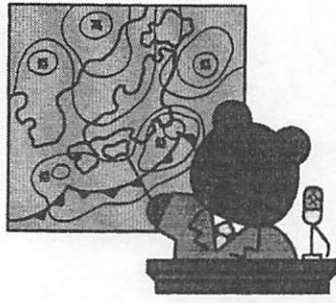
いよいよ本格的な

雨の季節

水曜日は、朝から降り続く雨のために、まず鹿児島本線を利用する生徒が登校できませんでした。さらに、昼からは雨脚(あまあし)が強まるという予報もあり、他の私立高校とも協議し、午前で授業を打ち切りました。

まだまだ、雨の季節はこれからが本番のようです。また、今年は台風の接近が早いように感じます。

今一度、「気象条件等登校困難な場合」の文書(HPにも掲載)をご確認ください。また、できるだけ早めに一斉メールやHP上でお知らせをしたいと思います。



先見コーナー

考査一週間前期間(8/21~)

⇒部活動特別練習届のない部活は活動停止期間

- 8/24(日) ○全商簿記実務検定
- 8/27(水) ○期末考査(予備日)(帰りのSB16:45)
- 8/28(木) ○期末考査1日目(帰りのSB13:00)

部活動朝の練習停止期間~7/3

- 8/29(金) ○期末考査2日目(帰りのSB12:25)
- 7/01(日) ○全商ビジネス文書実務検定
○実用英語検定(2次)
- 7/02(月) ○期末考査3日目(帰りのSB12:25)
- 7/03(火) ○期末考査4日目(帰りのSB12:25)
- 7/04(水) ○クラスマッチ抽選会
- 7/05(木) ○眼科検診(3年生と2年生)
- 7/06(金) ○生徒会選挙(5・6限目)
- 7/07(土) ○全学年進研模試(記述) ○数学検定
- 7/08(日) ○3年進研模試(記述)
○全経簿記検定
- 7/10(火) ○高校生ステップアップセミナー
○米国留学生来校(~7/17)
○成績伝票提出

当初予定より1日早まりました。

ノートや宿題・課題の提出はだいじょうぶ?

次のかわら版11号は6月29日(金)に発行予定。

情報

- 鹿児島子ども自然体験キャンプ
締め切り6月25日(月)
○聞き書き甲子園(農林水産事業)

- りんり俳句大賞
締め切り6月30日(土)
- 手話パフォーマンス
甲子園
- かこ専文化フェア
7月7日AMU広場
- おはら祭り
ヤング踊り連募集
締め切り7月4日(水)
- 青少年赤十字トレセン
締め切り6月29日(金)
- ポランティア交流キャンプ
締め切り7月9日(月)
- 親子療養所訪問(ハンセン病)
締め切り7月13日(金)

- 高校生クイズ(日本テレビ)
締め切り7月26日(木)
 - 新聞感想文コンクール
締め切り9月10日(月)
 - 防災ポスターコンクール
締め切り10月31日(水)
- 一学期中に締め切りのあるものと新規(●印)を掲載しました。

食中毒に注意

この時期に、心配なのが食中毒です。校内でも食中毒またはその疑いのある生徒が出ています。症状は嘔吐や腹痛だけでなく、発熱を伴っている生徒も多いようです。手洗



いの励行はもろろんのこと、食材はできるだけ火を通すこと、他の食材と同じ調理器具を使わないなど、気をつけたいものです。

また「保健室だより」には他の話題も取扱い、クラスに配付、掲示しています。同じものを学校HPにも掲載しています。ご覧ください。

公共交通機関内のリュックサック

両手を塞がないリュックサックは好評なようです。

一方、そのままバスや電車などに乗り込むと大きなスペースを占有することになります。また、乗り物が揺れるたびに、隣に立つ方々に大きな迷惑になっています。

一番危ないと思われるのが、バッグに付けられたキーホルダーやピンで留められたバッジなど。体の向きを変えたり、隣の人の服を傷つけていることもあります。

一般客の方から指摘もいただきました。バッグは体の前で持つ、危険なものをバッグに付けないなどの心遣いも必要かと思えます。

清流

「健康住宅の日」という日があるのを初めて知った。それに因んで今朝はこんなことをテレビで言っていた。「安堵(あんど)」ということばは「住まい」を由来としている。「堵」は「垣根」と同じような意味がある。垣根の内側の安心できる場所、つまりそれが「住まい」である。確かにどんなに小さくても我が家は安堵する。そう言えば、英語でも Make your self at home で「くつろいでください」などの意味がある▼先日のQUテストで「いこちの良いクラスをつくるためのアンケート」を実施した。「学級生活に満足している」というグループの生徒の割合は、全国平均よりも10%以上の高い数値が出ている。しかし、中には、「いこちの悪さを感じている生徒もいる。そのことを知りたい」▼読売ジャイアンツの長島名誉監督は、野球を「ホームから出発し、仲間の力でホームに戻ってくるスポーツ」と言っていた(野球へのラブレター:文藝春秋)▼「教室」は学校の中で、みんなの「家」のようなものである。ホームルームということばもある。みんながくつろげる空間をみんなで作ってほしい。そのためには、お互いを思いやる気持ちも大切だ。